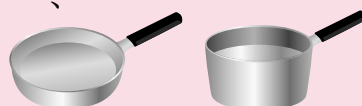


## 小径のフライパン・片手鍋

### 片手鍋を正しく使ってみよう

新型コロナウイルスの影響で外食を控え家庭で調理したり、お子さんが調理に参加したりする機会が増えたお宅も多いかと思えます。

そのようなときに、小径のフライパンや片手鍋がとてもしやすいですが、全国の消費生活センターには、フライパン・片手鍋の落下に関する相談が多数寄せられています。



また、国民生活センターの商品テスト部には、調理時に危険な状況になったフライパン・片手鍋のテスト依頼が寄せられています。これらは比較的小径のものでした。

国民生活センター「小径のフライパン・片手鍋の取扱いに注意」(2021年9月16日報道発表資料)に基づき、皆さんに情報提供します。

#### 事例1

揚げ物をしていて調理物を取り出したとき、油が入ったフライパン(内径24cm)が落下し、手に油がかかって大やけどした。

#### 事例2

ガスコンロの炎がフライパン(内径約22cm)の取っ手に当たり、

取っ手を固定している樹脂部が焼けてフライパン本体から外れ、料理が足に落ちやけどした。

#### 事例3

8年前に購入した片手鍋の取っ手のねじが、取っ手内部に残った水分によって腐食し、心棒がさびついて折れた。

#### 消費者のみなさんへアドバイス

・ガスコンロに装着された温度センサーのばねが、軽いフライパンや片手鍋を押し上げてしまうことがあります。五徳の位置にも注意し、取っ手に手を添えて使いましょう。

・ガスコンロの炎が大きいと、取っ手の樹脂部分に炎の先端が当たり、取っ手の破損につながります。特に小径の場合は、取っ手の根元部分が炎に近く、なべ底からはみ出した炎の先端が取っ手に直接当たりやすいため、火力に注意しましょう。

・取っ手の先端部から根元部分まで貫通する長いねじで留められている場合、取っ手内部に残った水分でねじが腐食し、破損につながる恐れがあります。洗った後は十分に水を切り、また、取っ手を止めているねじが緩んでいたなら締め直しましょう。

#### 秩父市消費生活センター

毎週月・金曜日(祝祭日はお休み) 午前9時～正午、午後1時～4時 ☎2515200

## 地域包括支援センターだより

介護予防でいつまでもはつらつと



秩父地域包括支援センター ☎22-2582

### 認知症サポーターになりませんか

「認知症サポーター養成講座」を受講し、認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人やその家族を温かく見守る応援者です。

市では、多くの方に養成講座を受講していただけるよう、個人型の講座を開催しています。認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるまちを作りましょう。

とき 1月20日(木) 午後6時30分～8時

ところ 歴史文化伝承館1階研修室

定員 20人

1月6日(木)～19日(木)までに、秩父地域包括支援センターへ

認知症のこと、ご相談ください!

### 専門職に聞いてみよう

認知症は早期の発見と治療がとても大切な病気です。

市では、認知症になってもご本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けていけるよう、認知症の専門職が集まり、

認知症初期集中支援チームを構成・設置しています。

1月12日(水)～2月18日(金)まで、秩父図書館1階で開催される認知症に関する本と資料の展示に合わせ、認知症初期集中支援チームによる認知症相談会を開催します。公認心理師、作業療法士、社会福祉士の専門職が相談に応じます。

認知症に関わる悩みや不安を、ご本人やご家族だけで抱え込まず、専門職に相談してみませんか?



また、同日に地域包括支援センター職員対応による認知症相談室も開催します。

### 〈専門職に聞く認知症相談会〉

とき 2月9日(水) 午後1時～3時30分

ところ 秩父図書館2階講座室2

定員 3組(1組当たり40分)

※秩父地域包括支援センター

※要事前予約・1月26日(水)午前9時から☎で受け付け。(定員になり次第締め切り)

### 〈認知症相談室〉

とき 2月9日(水) 午後1時～3時30分

ところ 秩父図書館2階視聴覚室 ※予約不要

なお、地域包括支援センターでは、認知症についての相談を随時受け付けています。

担当部署が不明の場合や「緊急」の場合は、「おきがるコール」へご連絡を!